

エポキシコンクリート床用塗料
エポキシシールド・コンクリートフロアコーティングキット

ご使用前に必ずお読みください。

【注意】

Part-B 硬化剤はブロック状に硬化していることがあります。
Part-B 硬化剤がブロック状または部分的に固形化した状態のまま使用すると、硬化不良を引き起こす原因となります。密着力を高め綺麗に仕上げるため、使用前に必ず袋のまま 50℃程度のお湯に 10 分程浸け、完全に液体状になってからご使用ください。お湯につけても固まりが残っている場合は、再度 50℃程度のお湯に浸けてください。火傷防止のため手袋をつけていただき、手で固まりをほぐすと早く液体状になります。お湯がすぐ冷めるようであれば、お湯を替えながら完全に液体状になるまで繰り返してください。Part-A 主剤と Part-B 硬化剤どちらも柔らかく均一な液体状になったら、すぐにご使用ください。融解による品質への影響はございません。

【製品情報】

- エポキシシールド・コンクリートフロアコーティングキットは、二液性の水性塗料で、一液性の一般的なエポキシ塗料の 5 倍の耐久性を誇ります。
- 塗装 1~2 日後に歩行が、3 日後に自動車の走行が可能です。
- 塩分、オイル、ガソリンやその他化学物質等に対して、非常に高い耐久性が特長です。
- 低臭塗料、VOC ゼロ（有機系揮発成分の含有量ゼロ）の環境配慮商品です。
- 一回の塗装だけでも卓越した保護塗膜と耐久性が得られ、優れた光沢のある仕上がりのため美観回復におすすです。
- 塗料はバーストパウチとよばれるタイプのバッグに入った二液型コンクリート床用塗料で、塗料を無駄なく塗布する事が可能です。※バーストパウチ特許番号 (U. S. Patent Number) : 8,381,903 B2

【重要事項】

- 車庫や倉庫などの屋内にご使用ください。直射日光のあたる場所、屋外にはお使いいただけません。
- 塗膜が長続きし、綺麗な仕上がりを得るためにも、コンクリート面の状態が非常に重要です。状態の悪いコンクリートには、塗装の前に必ず下地処理を行ってください。
- 既存の塗膜が剥がれかけていたり、水分で湿っているコンクリートには使用しないでください。
- **二液混合後の化学反応の誘導時間とポットライフに十分にご注意いただきながら作業してください。**
(詳細は後述の説明を参照)

- 塗料の分離や密着力を阻害する原因になりますので、外気とコンクリートの表面温度が15℃を下回る場合の作業は控えください。
- 開封後は保存できません。必ず1回で使い切ってください。
- 本キットには塗装用ローラーやハンドルは付属されておきませんので、別途ご用意いただく必要がございます。
- お問い合わせに必要なため、外箱に直接印字、または箱にシール貼付されている製造ロット番号を、メモ（→P6）や写真等で控えておいてください。
- すべての安全注意を読み、ご理解されたうえでご使用ください。

【製品詳細】

キット内容：

- バーストパウチ（Part-A 主剤／Part-B 硬化剤）1袋
- チップ材1袋
- 下地処理剤1袋
- 日本語版取扱説明書（本紙）

色の種類：

全2色（グレー／ベージュ）

容 量：

3.5 リットル（Part-A 主剤：2.7 リットル Part-B 硬化剤：0.8 リットル）

塗装可能面積：

約18～23平方メートル

※平滑なコンクリート床面に塗布した場合です。床面が粗いと塗布可能面積は減少します。

主成分：

Part-A 主 剤：脂肪族ポリアミン、酸化チタン

Part-B 硬化剤：ビスフェノールA型エポキシ樹脂（液状）、脂肪族グリシジルエーテル（C12-14）

下地処理剤：クエン酸

推奨塗布作業気温・湿度：

気温16～29℃、湿度80%以下

塗装24～48時間後の気温が18℃を下回ると予想される場合は使用しないでください。

ポットライフ（二液混合・攪拌後、作業可能な最長時間）：

60～120分 ※温度や湿度により変動します。詳細は下記施工方法2.の表をご確認ください。

乾燥時間：気温21～27℃、湿度50%の条件下

- 通常の歩行：約1～2日間
- 自動車の走行：約3日間

使用期限：

製造から未開封で3年。約26℃の冷暗所で保管してください。気温の高い場所での保管は、ポットライフを短くさせる原因となります。高温多湿または低温乾燥した場所を避け、直射日光や火災の危険性のある場所からは遠ざけてください。

注意 △ まれにビニール袋内部に水滴が付着している場合がありますが、これは結露による水滴で製品の不具合ではありません。梱包環境の湿度が高い場合、結露してビニール袋内部に水滴が発生する場合があります。ご使用上の問題はございません。

【施工方法】

準備する道具

- 塗装用ローラー
- ローラーハンドル
- ローラーハンドル用伸縮棒
- 塗料用トレイ

- 下地処理剤希釈用のバケツ
- マスキングテープや養生テープ
- 毛足の硬いブラシ（デッキブラシ等）
- 縁（ふち）仕上げ用刷毛
- 適切な保護具（マスク、手袋、保護メガネ、保護衣等）
- ミネラルスピリット（作業後の道具洗浄用溶剤）

1. コンクリート下地処理

床面の状態確認

- 施工後 30 日以上経過したコンクリートにご使用ください。
- 適正な密着力を阻害するような下記要因がないか、コンクリート床面の状態を確認します。

◆コンクリートシーラー（コンクリート用表面仕上げ剤）が付着していないかの確認

少量の水を、場所を変えて数ヶ所コンクリート面にたらし、水を吸い込めば作業に適した状態、水を弾けばシーラーが付着しています。水を弾く場合、エポキシシールドとの適正な密着力が得られない可能性があります。

◆コンクリートの乾燥状態の確認

コンクリート面に、約 50 cm 角に切ったプラスチックフィルムを四辺に空気が入らないように粘着テープで密閉します。この状態で約 24 時間放置した後、フィルムに水滴が多く溜まっていればコンクリートが水分を多く含んでいる事を示しているのので、さらにコンクリートを乾燥させてください。

◆コンクリート表面が十分硬化しているか、ホコリが付着していないかの確認

硬化が不十分であったり、ホコリが付着していたりするとエポキシシールドとの密着力が得られません。十分硬化させ、ホコリは除去してください。

◆既存塗膜が下地コンクリートに密着しているかの確認

以前に塗装したコンクリートの表面に汚れがなく、乾燥していることを確認してください。

既存塗膜が密着しているかの確認方法は以下の通りです。

1. 塗膜の上からコンクリートまで届くように、ナイフで小さく十字キズを付けます。
2. この十字キズを覆うように粘着テープを貼り、塗膜と十分に密着させます。
3. その後 2. のテープを一気に剥がし、十字キズ周辺から既存塗膜が容易に剥がれないかを確認します。
4. 既存塗膜が容易に剥がれてしまうような場合は、この塗膜を適切な工具で取り除く必要があります。既存塗膜がしっかりと密着していない場合は、ヤスリがけをしたり、ワイヤブラシ等で削ったりして取り除いてください。既存塗膜がしっかりと密着している場合は、十字キズをヤスリがけし、水洗いしてください。既存塗膜面がしっかりと密着していても、コンクリート面が固くて平滑な場合は塗料との密着力が得られない恐れがあるので、表面をヤスリなどで細かく傷つけてください。

注意 ⚠ 古い塗装をヤスリがけしたり取り除いたりした際、鉛（なまり）の粉塵が発生する恐れがあります。**鉛は有毒物質です。脳の損傷など、特に小さな子供は深刻な被害を引き起こす原因になりますので、粉塵を吸い込まないようにご注意ください。**

床面の洗浄

床面の洗浄、すすぎ、乾燥が完全にされていない場合、エポキシシールド塗料の適切な密着を得ることができなくなりますので、下記工程をしっかりと行ってください。

比較的新しいコンクリート床面（施工後 30 日以上を経過していること）の場合でも、付属の下地処理剤で洗浄してください。塗料の密着力を高める効果がございます。

- ① 上記チェック後、デッキブラシ等で表面のほこりや汚れを取り除きます。必要に応じて繰り返します。
- ② その後、ホース等で湿らせた床全体をキット製品に含まれている下地処理剤で仕上げ洗浄します。下地洗浄剤 1 袋に約 8 リットルの水を混ぜ合わせ、溶かします。

※下地処理剤を直接塗料に加えないでください。

※下地処理剤にはクエン酸が含まれていますので、洗浄には塩酸を使用しないでください。

- ③ 下地洗浄剤を散布後、デッキブラシ等で床面を擦りながら洗浄します。3メートル四方ずつ作業を進めていくと洗浄しやすいです。特に車のタイヤが通常止まるような加重のかかる箇所は、十分に汚れを落としてください。
- ④ 洗浄完了後、全エリアをすすいで汚れを除去、必要に応じて繰り返します。床面に水を貯めないよう注意し、水捌けしながら行ってください。ゴム製のスクイージーを使用すると、チリ汚れや水を効率的に取り除き、乾燥も早めることができます。ただし、下地処理剤が残った状態で乾燥させると、成分が残り密着不良を起こす原因になりますので、洗浄後はすぐによく水で洗い流し、下地処理剤が完全に除去されてから乾燥させてください。しっかりとすすげば、下地処理剤が道路を変色させたり草木を傷つけたりすることはありません。
- ⑤ 乾燥後、コンクリート表面を指で擦り、汚れや白い粉等が付かないかを確認してください。もし白い粉等が付着した場合は、床面がきれいになるまで洗浄を繰り返します。全体の水洗い完了後は、床面を完全に乾燥させます。

2. 二液混合・攪拌

- ・作業中はマスク、手袋、保護メガネ、保護衣等、適切な保護具を着用してください。
- ・ポットライフはパウチの二液を混ぜ合わせた瞬間からカウントされますので、必ずポットライフ時間の範囲内で塗装作業を完了してください。
- ・ポットライフが短くなり硬化リスクが高まる恐れがありますので、最良の結果を得るためにも塗料を室温に戻してからご使用ください。
- ・ポットライフ時間内にスムーズに塗装を行うため、必ず事前準備をしてから混合・攪拌を開始してください。必要な道具を揃え、塗装しない場所にはマスキングテープや養生テープ等で養生を行う等、あらかじめ準備をすることで硬化リスクを低下させることができます。
- ・一度に混ぜるのはパウチ 1 袋のみにしてください。一度に複数のパウチを混合・攪拌すると、化学反応により過度の熱を発生する危険性があります。混合・攪拌して活性化した塗料は時間の経過とともに熱くなり、火傷を負う可能性があるため、混合・攪拌後はすぐに作業を開始してください。
- ・付属のチップ材は塗膜表面上に散布するものなので、塗料に混ぜて使用することは避けてください。

- ① パウチ袋を上下に振ったり揉んだりして、Part-A と Part-B をそれぞれ混ぜます。
- ② パウチ袋を床に置き、Part-A 側から Part-B 側に向かって巻いて A と B を混ぜます。力を加えることで中央のシールが破れて混ざる仕組みです。ポットライフはこのタイミングでカウントを開始します。
- ③ ②を約 3 分間、隅々まで振ったり絞ったりして、パウチ袋の中身を完全に混ぜてください。
- ④ 使用可能になったらパウチ袋の角をハサミで切り、必ず下記【ポットライフと作業時間帯】に沿って作業してください。混合・攪拌後、パウチ袋を放置したり、トレイ等に置いたままにしないでください。

【誘導時間／ポットライフ／作業時間帯】

二液混合後の活性化は、化学反応によるものです。適切な塗膜を形成するため、最初の化学反応が起こるまで一定時間待機する必要があります。気温によって誘導時間が異なるため、作業条件については下記の表をご確認ください。

注意 △ 気温や湿度が高くなるほど化学反応は早く進行するため、ポットライフ（作業可能時間）は短くなります。ポットライフを経過した商品は使用しないでください。

	気温 16～21℃	気温 22～27℃	気温 27～29℃
誘導時間	混合から 30 分後に縁（ふち）の塗装を開始	混合から 10 分後に縁（ふち）の塗装を開始	混合後すぐに縁（ふち）の塗装を開始
	混合から 45 分後に床面塗装開始	混合から 15 分後に床面塗装開始	混合から 5～15 分後に床面塗装開始
ポットライフ	混合後 2 時間	混合後 1 時間 30 分	混合後 1 時間
最適な作業時間帯	午後 1 時以降	早朝（午前 9 時前）	早朝（午前 9 時前）

バーストパウチ袋の混合攪拌方法や商品使用方法は、ラストオリウム社の作業動画でもご確認ください。下記リンクまたは QR コードよりご覧ください。

<https://www.youtube.com/watch?v=J8sSWXOFbIQ>



3. 塗布作業

- パウチから塗料をトレイに移して作業します。まずは縁（ふち）を仕上げ、その後、床面全体を仕上げます。
 - エポキシシールドを塗布した床は、濡れると滑りやすくなる場合があります。滑りを防止したい場合は滑り止め添加剤の「エポキシシールド アンチスキッド」（別売）を塗料に添加してください。その場合は、混ぜ合わせたパウチ袋の中身をトレイに移したあと、スティック等で混ぜながらゆっくりと滑り止め添加剤を加え、均等に分散するまで十分に混ぜてください。
 - 塗装中もパウチ袋内の塗料を混ぜ続ける必要があります。また、塗装とチップ材散布がほぼ同時進行で発生するため、2名で作業を行うとスムーズに完了します。
- ① まずは縁を仕上げます。混ぜた塗料を長さ約 1.2m、幅約 5～7 cmほど、後方の壁側から細長く床に注ぎ、刷毛等で縁（ふち）を塗ります。
 - ② 続いて床面全体を仕上げます。ローラーハンドルと伸縮棒をセットした付属の塗装用ローラーにて、ローマ字のMとWを描くように約 1.2m 四方区切りで均等に塗ります。
 - ③ 塗装した場所から約 60 cm離して塗料を注ぎ、②の作業を繰り返します。最初のひと塗りは押すのではなく引くと、次に前に押し出した時に区画の境目が目立たず塗ることができます。**作業中はトレイ内の塗料を混ぜ続けてください。**
 - ④ 後方全体を塗り終わったら、付属のチップ材を湿ったコーティングの上に振って落とします。塗料が乾く前に散布してください。お好みでチップ材をまくことにより、塗りムラの軽減や継ぎ目を目立たなくする効果、滑り止めの効果があります。
- 一度塗りで大丈夫です。光沢や色が均等に出ない可能性がありますので、必ずポットライフ通りにご使用ください。
 - マスキングテープや養生テープを使用した場合、塗料が完全に乾燥してしまうと、テープについた塗膜と一緒に塗装面の塗膜を剥がしてしまうことがあるため、まだ湿っぽいくらい（指で触っても

塗料がつかない程度)のタイミングでテープをゆっくり剥がすようにしてください。作業時は、塗料が飛んだり垂れてきたりすることがありますので、十分にお気をつけください。

- 2袋以上ご使用になる場合は、個数に応じて「2.混合・攪拌」の工程から繰り返してください。一度に複数の塗料は使用しないでください。

4. 乾燥・硬化、後処理

- 直射日光をあてないでください。
- 気温や湿度等によって実際の硬化時間は変わりますが、気温 21~27℃、湿度 50%の条件下の場合、約 1~2 日間で通常の歩行が、約 3 日間で自動車の走行が可能です。
- 使用した道具は、塗料が乾燥・硬化する前にミネラルスピリット（洗浄用溶剤）で洗浄してください。硬化後は塗料を除去することができなくなります。
- 廃棄時は、自治体の定める方法に従って分別・廃棄してください。

使用上の注意

- 子供や動物の手の届かない場所で使用・保管してください。
- 刺激性であり、飲み込んだり吸い込んだりすると、呼吸器への刺激、喘息または呼吸困難等人体に危害を及ぼす可能性があります。
- アレルギー反応を引き起こす可能性があります。
- 皮膚や眼に触れないようにし、粉塵は吸い込まないでください。
- 保護メガネや保護衣等、適切な保護具を着用してください。
- 作業後は手をよく洗ってください。
- 作業後の衣類はよく洗い、汚れた靴は十分に洗うか廃棄してください。
- 十分に換気しながらご使用ください。
- タバコや蒸気など、着火源のない場所で使用・保管してください。

応急処置

- 塗料が目に入った場合はこすらず、直ちに大量の清潔な水で最低 20 分間洗浄し、本品を持参し専門医の診察を受けてください。
- 飲み込んだり粉塵を吸い込んだりした場合は吐き出さず、直ちに水で口の中を洗浄して水を飲み、本品を持参し専門医の診察を受けてください。
- 皮膚に付着した場合は、石鹼と水で十分に洗ってください。
- 呼吸が困難な場合、新鮮な空気を得られる場所に移動してください。
- もし呼吸困難が継続している、あるいは作業後発生した場合は、医師に相談してください。

お客様控え

お買い上げ日 :	年	月	日
製造ロット番号 :			